

# せいとうなわどから

清沓中通青少年育成委員会だより  
発行 杉並区清沓中通青少年育成委員会



R4.10.15 わんぱくマラソン大会  
負けないうぞ!



11.5 ほんあまわくわくウォークラリー  
クイズの答えがわかったよ



11.20 STN 少年サッカー大会  
僕にまかせろ

## コロナに負けるな!

子どもたちを健やかに  
育てる地域へ!

特集 杉並にもあった戦争

この2、3年はコロナの感染防止のために思うように行事  
ができなかったのですが、今年度は予定した行事の多くを  
行うことができました。三密を避け、消毒や手洗い、うがい  
は欠かせませんが、それでも大勢の子どもたちに育成委員  
会の行事を楽しんでいただくことができました。  
杉並区に17ある青少年育成委員会の活動報告会は「コロ  
ナ禍で事業を実施するにあたり工夫したこと」をテーマに開  
催され、7つの育成委員会がそれぞれの工夫を発表しまし  
た。清沓中通育成委員会からは清水DASH村、ウォークラ  
リー、マラソン大会の3つの事業の工夫を発表しました。  
以前のようにはいかないかもしれませんが、今後もさま  
ざまな工夫を重ねて楽しい、この地域ならではの体験がで  
きるような行事を行っていきたいと思っています。  
大勢の皆さまのご参加をお待ちしています。

# 杉並にもあった戦争

## 体験者の座談会より

ロシアとウクライナの戦争の様子が毎日のように報道されますが、他人事やテレビの中のできごとのように思ってしまう、自分と同じ世界のできごととは思いいくいのではないのでしょうか。

私たちの住んでいる杉並にも80年近く前ですが、戦争がありました。第二次世界大戦です。灯火管制の中で暮らし、時には空襲で逃げまどい、小学生は集団疎開をして親とは別の町に行つて暮らしました。そんな戦争の体験をなされた三人の方にお集まりいただき、当時のことをお話しいただきました。

☆ ☆  
座談会にご参加いただいた皆さま

北川恵津子さま・志村彰彦さま・松原俊夫さま  
清查中通青少年育成委員会会長・広報担当委員

司会 まず身近な杉並の地におこつた戦争のようすからお話を聞かせてください。

○昭和19年11月24日にNTTの電話局の近くに一発、妙正寺の信号のところに一発、さらさらぼし保育園の近くにも一発、合計三発の250キロ爆弾が落ちて、道路に8メートルくらいの穴を開けたことがあった。これが空襲の最初だった。三鷹の中島飛行機を狙つたのか、



松原俊夫さま

B・29は西の方から来て房総半島の方に抜けて行つた。その時は爆弾が落ちる音は聞こえな



防空壕  
庭に穴を掘り、戸板や土をかけて作った

かつたが、その後B・29が戻つてきて三発の爆弾を落とした。私は小学1年生で、戸外にいて、シュンユシユという音が聞こえたので爆弾だと思い、とつさに防空壕に飛び込んだ。ゴオーという音からガガガという音に変わり、グワーン（爆発音）という音が聞こえ、防空壕が揺れた。防空壕は竹藪の中にあつたので、崩れることはなかったが、私は泥だらけになつた。

2回目の空襲からは1トン爆弾になつた。250キロ爆弾と1トン爆弾では重さは4倍だが威力は数十倍になる。家の近くに落ちた爆弾が1トン爆弾だつたら今頃私はいなかったかもしれないと思う。翌年の1月から爆弾は焼夷弾に変わった。木造の家が多い日本では爆弾より焼夷弾の方が効果があると思つたのだろう。

○防空壕は家の庭に1.5m×3m、深さ1.5mくらいの穴を掘り、その上に戸板と油紙を乗せて雨をしのいだもので、空襲警報が出るとその中に避難したが、爆弾が落ちるとひどく揺れてあまり役に立つとは思えなかつた。青梅街道にもあちこちに防空壕があり、道行く人が逃げ込めるようになっていた。

○戦後、畑に不発弾が埋まつていて、掘り起こして取り除いてもらった。不発の焼夷弾もあり、若杉記念館に納めた。清水2丁目の庚申塚の花活けは焼夷弾の残骸を使つていそうだ。

○中瀬中の辺りにあつた高射砲の弾丸は敵機の近くで爆発し、小さな破片になつて落ちてきた。子ども達はそれを拾つて誰のが大きいか、比べっこをしたが、破片は切り口が鋭利なナイフのようになっていて、危ないと親に怒られた。

○爆撃は深夜に行われるようになった。桃一小の隣りにサイレンがあり、警戒警報はウーウーウーと波打つて鳴つた。空襲警報はウーウーウーと波打つように鳴つた。

司会 子ども達は集団疎開に行つたと聞いていますが、どんな様子だったのでしょうか。

○戦争がひどくなると子どもは学童疎開をすることになつた。学童疎開は縁故疎開と集団疎開があり、地方に知り合いのいない小学3年生以上の子どもは集団疎開として学校単位であちこちの地方に行くことになつた。

○昭和19年、小学3年生だった私は長野県の別所温泉に行くことになつた。若杉小、西田小、立教女学院の3校で、学校に集まり、集団疎開列車に乗つて長野



北川恵津子さま

に向かった。宿舎は花屋ホテルだったが、大勢の小学生の食料や燃料の調達のため、生活に必要な薪を山に行つて拾つてきて、その薪でご飯を炊いてもらった。薪拾いだけでなく、雑巾がけをしたり、靴下を編んだり、小学生でもできることは何でもしないと生きていけなかつた。辛くて脱走する人もいたが、途中で見つかつて連れ戻された。

○桃一は宮城県涌谷が割り当てられた。小学生と先生だけが行って親はいないので、面倒をみるのは上級生だったから、上級生の言うことは聞かなければならなかった。軍隊と同じようだった。

○疎開生活で一番困ったのは風呂がなかったことで、9か月間涌谷にいたが、風呂に入ったのは2回だけだった。町の銭湯に行つたが、シラミだらけで断られた。頭に触ると手にシラミがびっしりついてきた。シラミがうつるからと地元の子どもとは付き合いを禁止された。朝からシラミ取りをして、勉強どころではなかった。



座談会の様子  
話している内容は深刻なものだったが、座談会は和気藹々と進行し、貴重なお話をたくさん聞かせていただいた

○私は小学3年生で涌谷に行つたが、途中で入学前の弟も来ることになり、それまでの宿舎とは別の宿舎で弟と一緒に暮らすことになった。食べ物がなく、川で魚を釣ってきて、みそ汁に入れて食べた。煮てはあるが一匹のままなので、弟は魚を食べられなかった。捕まえてきた赤ガエルの脚を串に刺して焼いてもらって食べたこともあった。赤ガエルの脚は結構おいしかった。

○あまりにお腹が空くので、お墓に供えてあるお供え物を盗んで食べようとしたが、疎開の子に盗まれるせいなのか、お供え物に炭がつけてあり、食べられたものではなかった。



志村彰彦さま

○学童疎開から帰ってきた時に母がお赤飯を炊いてくれたが、全然食べられなかった。満足に食べられなかった疎開の生活で胃が小さくなつてしまつていたので。

○低学年の女の子はホームシックになつて夜中にシクシク泣いていた。

○終戦になり、しばらくしてから東京に帰れることになった。帰ってきた荻窪も駅の周りは強制疎開で何もなかった。筵の上に商品を並べて売っていた。今はきれいなロータリーになつている辺りにはそんなお店が並んでいた。

○戦時中の教科書はカタカナで書かれていた。戦後はひらがなになった。

司会 一番辛かつたことは何でしょうか。

○シラミが発生してDDTという殺虫剤を噴霧器でかけられ、小麦粉をかけたように全身まっ白になった。



灯火管制  
空襲の標的にならないように電灯に黒い布をかぶせて光が漏れるのを防いだ

○灯火管制で夜は真っ暗だった。明りが漏れないように電灯の周りに黒い布を垂らした。しょっちゅう停電するからランプが必要で、ランプの掃除をするのは子どもの役目だった。

○終戦になつて灯火管制がなくなったのが一番嬉しかった。

○東京大空襲の時は東の空が真っ赤になつていて、十数キロも離れた所の火事が見えた。畑に新聞紙の焦げたのがいっぱい落ちていた。

司会 今の子ども達に伝えたいことは何でしょうか。

○自分たちはひもじい思い、辛い思いをたくさんしてきたが、それを糧にしていろいろなことを考えるようになった。今は平和な時代で、自分たちがしてきたような思いはしなくても生きていける。平和な時代を大切にして成長して欲しい。

☆ ☆

杉並にも戦争があつた時代がありました。今では考えられないような体験を聞かせていただきました。生きるために、子どももできることは何でもしたというのが印象的でした。

貴重なお話をたくさん聞かせていただき、ありがとうございました。

## 令和4年度 事業報告

- \*総会 5月13日(金) 32名
- \*常任委員会 7回
- \*委員研修 中止
- \*清水DASH村2022 大根作り  
松原俊夫さんの畑、清水いこいの森
- 種まき 9月17日(土) 85名
- うる抜き 10月11日(火) 71名
- 収穫 12月 3日(土) 89名
- \*第33回ウォークラリー 中止  
ほんあまわくわくウォークラリーに参加協力
- \*第41回今川子ども秋まつり 10月15日(土) 268名
- \*第45回わんぱくマラソン大会 10月15日(土) 368名
- \*公園清掃 10月15日(土) 10名
- \*ほんあまわくわくウォークラリー 11月 5日(土) 164名  
本天沼児童館を出発し、妙正寺体育館までのコース  
本天沼児童館、妙正寺体育館、沓掛学童クラブとの共催
- \*地域パトロール 11月 5日(土) 22名
- \*第45回STN少年サッカー大会 11月20日(日) 123名  
四宮小校庭
- \*委員活動報告会 12月 3日(土) 中止
- \*ちびっこ昔遊びともちつき体験  
5年 2月 4日(土) 265名
- \*広報紙「せいとうなかどおり第35号」発行 3月1日

いろいろできたね。  
感染症対策を充分にして、  
やっとこれだけできました。



### 12.3 清水 DASH 村

やった!



### R5.2.4 ちびっこ昔遊びともちつき体験

なかみは小麦粉だけでもちつき気分

#### お知らせ

令和5年4月から区の公式ホームページ内に青少年育成委員会の紹介ページができるそうです。清査中通育成委員会も紹介されるかもしれません。皆さん、見てくださいね。

**編集後記**／毎日のように報道されるロシアとウクライナの戦争。また、5月23日に行われた沖縄全戦没者追悼式で小学2年生の女の子が「こわいをして、へいわがわかった」という自作の詩を読む姿がニュースで紹介されました。

かつて杉並にもあった戦争を知って欲しいと当時小学生だった3人の方の座談会を企画しました。にこやかに語られる壮絶な体験を伺って、今の平和がいつまでも続くことを願いました。

ご意見・ご感想は百草地域活動係まで

**発行者**／潮来みどり

**編集委員**／岡井、織茂、重森、武山、松原、小野

## 令和4年度 (4月1日現在)

### 清査中通青少年育成委員会 委員名簿

◎会長 ○副会長 ◇相談役

〔清和会〕	〔沓掛いづみ会〕	〔中通明和会〕
井口 清	井口 晃	◎潮来みどり
井口富之助	井口 和也	小野 恵子
井口 亘弘	○井口 俊夫	小野澤由貴子
○岩崎 英邦	井口まさ子	織茂 祐子
大鶴 義丹	井口 容宏	国定 千幸
大友 昌一	石川まり子	ゲネネあづさ
金森 陽子	今村結希子	清水 義人
木村 芳枝	岡井美智子	◇志村 彰彦
栗山 一昭	笠置優美子	関口 将樹
後藤きよ子	○梶本有希子	塚原 悟
佐谷 武	金子 幸子	○長田 喜子
武山 葉子	重森 祝子	野澤 国子
○塚本 健一	高橋 相子	福井 峰子
◇二見 清	田中 富子	牧野 孝信
松原 孝夫	塚本 雅子	松原 茂隆
松原 宏武	◇松原 俊夫	
三澤文真将	山崎 まき	
諸沢 光治		
青少年委員	芦 秋子	高地由希恵
民生児童委員	澤地さちえ	
地域協力者	藤原 有希	
地域協力者	藤原 順子	
沓掛小PTA	小川つむぎ	
桃一小PTA	田中 聡子	
井荻中PTA	中野 匡章	
桃一おやじの会	井上 康司	